

【お願い】町内会役員(六役)を募集します!!

町内会活動にご協力頂ける方、自薦・他薦問わず大歓迎します

町内会の役員には「負担が多く大変」といったイメージを抱く方が多いと思います。わたしも役員になる前はそうでした。でも今回六役に加わってみて、それ以外の面があまりにも伝わっていないと感じました。そこで、初めて六役に加わった最年少(笑)のわたし(中川)が感じたことをここにお伝えし、町内会活動へのご理解の一助にさせていただけたらと存じます。

【楽しかったところ】

○役員になる前は、日常的なご近所づき合いは挨拶程度でしたが、町内会の活動をしていく中で、幅広い年代や他班の人と接する機会が増え、交流範囲は各段に広がりました。特に、福島だるまの村田好邦さんのことは、役員にならなければ存じ上げないままだったでしょう。お近づきになれたのはホントに幸運でした。

○支所に働きかけて、地震でひびが入った道路を補修できたときや、許可を得て辰ノ尾公園にゴミ集積所を設置できたときには、会員の方からこちらが恐縮するほどの感謝の言葉をいただきました。

○育成会とのコラボが増えたことで、ふだん接する機会が少ない子育て世代の若い方々との会話や交流が増え、一緒に行なったイベントでは達成感を分かち合い、パワーをもらうことができました。

○育成会の子どもさんが顔を覚えてくれて、あいさつ代わりにパンチをくれました。

【知らなかった富塚町内会の現状】

○一人暮らしの高齢者世帯が多いことをさまざまな機会を通じて痛感しました。また、空き地が増え、草ぼうぼうのところも少なくないにもかかわらず、私権の関係で立入ることができず、もどかしさを感じました。

○育成会の親御さんから、今年度の鎌田小の新入生が2年連続で2クラスになると聞いてびっくりしました。鎌田小はまだ大丈夫かなと思っていましたが、少子化は思った以上に進んでいました。また、教員不足によってクラス数を増やそうにもできない現実があることも知り、二重に衝撃を受けました。

住宅の価値は、土地と上物(うわもの)といった資産的価値だけでは測れません。住環境や地域事情も評価の対象となるようです。ぜひ町内の現状を知り、町内の価値と一緒に盛り上げていけるよう、一人でも多くの方に町内会活動に加わっていただきたいと願っています。

町内会活動に少しでも関心をおもちの方、推薦できる方の心当たりのある方、また、役員は無理だけどころした活動なら協力できるといったお申し出も大歓迎です。まずは下記担当者までご一報ください。

総務部長 中川伸二(phone:553-0786/ email:nakashin216@gmail.com)